

## 令和6年度 第1回 浜松市立平山小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年4月23日（火） 15時00分～16時30分
- 2 開催場所 平山小学校 ひなぶ館
- 3 出席委員 山田善万、山田友昭、浅野陽江、長坂和彦、山田勝英、  
浅野暁子、加藤良知、山崎仁也、森田佳津子、
- 4 欠席委員 清水一則
- 5 オブザーバー なし
- 6 学校支援コーディネーター 樋田まさ彥、中澤利仁
- 7 学 校 足立成寿（校長）、夏目浩敬（教頭）、久米満代（CSディレクター）
- 8 教育委員会 牧野知子（教育総務課）
- 9 傍 聴 者 なし
- 10 協議事項
  - （1）会長挨拶
  - （2）校長挨拶
  - （3）新規委員任命書・学校支援コーディネーター委嘱書交付
  - （4）自己紹介
  - （5）浜松市学校運営協議会規則確認（教育総務課）
  - （6）議長選出
  - （7）前回会議録の確認（CS ディレクター）
  - （8）令和5年度協議会自己評価の確認
  - （9）熟議 ①教育課程、学校運営方針、いじめ防止基本方針についての説明（校長）  
②「夢育やらまいか事業」について(教頭)

11 会議録作成者 CSディレクター 久米満代

### 12 会議記録

- ・司会の夏目(教頭)から、委員総数10人のうち9人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。
- ・教育委員会牧野より学校運営協議会規則の詳しい説明があった。
- ・司会より議長選出について意見を求めたところ、山田善万会長が引き受けいただき全員異議なく承認した。
- ・前回会議録の確認（久米）と令和5年度協議会自己評価の確認（教頭）後、熟議に入る。

## 13 熟 議

### ① 教育課程、学校運営方針、いじめ防止基本方針についての説明

校長から、本年度の生徒の様子・職員の紹介、学校運営方針の説明、いじめ防止基本方針の説明がされた。それを受け委員から下記の発言があった。

#### キャリア教育について

- ・前回の協議会で出た様々な職業体験（キャリア教育）の実現をお願いしたい。自分たちも「楽しい学校づくり」を目標にしていきたい。（加藤委員）
- ・職業体験には、具体的なプランはありますか？（会長）
- ・学校と協力しながら、複数回かけて実現できたらと思う。（加藤委員）
- ・加藤さんの話をうかがい、職員と詰めていきたい。2学期以降に行うのは不可能ではない。（校長）
- ・教育課程で年間予定もあるだろうが、取り入れられるならば検討してもらいたい。子供達の経験を増やす良い活動になると思う。（会長）

#### いじめ防止について

- ・① “いじめ”と“不登校”は同じか？ ◎本校は小規模校なのでいじめも無いと思うが、他校ではあると聞く。①他学区の子供を、本校に来てもらう事はできないだろうか？（山田友昭委員）
- ・①いじめが原因で不登校になる事もあるが、全てではない。子供本人でも原因がわからないが、登校できない事もある。◎昨年度本校でもいじめ事案があった。いじめ対策委員会を開き、新しい先生を含めて情報共有している。①制度として、隣接（西小、尾奈小）学区の子供であれば受け入れできる。離れた学区からは受け入れられない。引佐北部小中学校は、離れた学区からでも受け入れ可能。（校長）

#### 小規模校について

- ・小人数だと逃げ場がない。子供の本心を気にしてあげた。（山田勝英委員）
- ・小規模校ならではの良さはあるが、人間関係の難しさもある。（会長）
- ・新しいスクールカウンセラーから、「小規模校なので、全員と短時間でも気軽に話したい」と提案をもらった。これを進めていきたい。（校長）
- ・小規模校の存続は実際どうなのか？幼稚園・小学校は地域の核なので残したいが、教育現場としてはどうか？勉強会などあるのか？（山崎委員）
- ・昨年度、教育委員会による学校適正化にむけての話し合いの場もたれた。今年度もあり、保護者にも声を掛けるので、その場で意見を聞きたい。（校長）
- ・孫娘は同級生が少なくて卒業時は複式学級だった。中学校でも異学年の子と良く交流していたが、同級生が少なくて可哀想に思う事もあった。（中澤 CD）
- ・子供の数が減り地域の方も閉校が心配だが、「地域の声」があれば対応していくという事ようです。（会長）

### そのほか平山小の子を見て思う事

- 元気な登下校を見守っている。皆が声掛けられる地域でありたい。(浅野陽江委員)
- みかん切りの時期に他地域の人から「平山の子は、挨拶が元気だ」と驚かれる。中学に行っても元気だ。(森田委員)
- 学習発表会などでも、それぞれ出番がある。経験の場が多い。(会長)
- 小さい子と接する機会が少ないが少しずつ声掛けしている。田舎の良さが成長の過程で性格に好影響であれば嬉しい。(長坂委員)
- 地域の大人と言葉を交わし交流が深まると良い。(浅野暁子委員)
- 交流は学校運営協議会にとって大切な要素。地域の方々と顔見知りになり体験を増やすことになる。ボランティア等で学校支援の話題にしたい。(会長)
- 子供達の様子を見れば、元気で楽しく登校しているのは間違いない。(樋田 CD)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

### ②「夢育やらまいか事業」について

教頭から夢育やらまいか事業の補助金の申請内容に説明があり、異議なく承認された。

申請内容 <1>平山小ならではの活動として、陸上部と自転車部への支援を行う。

<2>地域ボランティアの方と、みかん栽培や才の神学習を行う。

### 1 4 連絡事項

- 今後の予定と、さくら連絡網への登録依頼。(教頭)
  - 第2回 令和6年6月21日(金)
  - 第3回 令和6年9月20日(金)
  - 第4回 令和7年2月14日(金)
- 年度末にある学校運営協議会自己評価の依頼(教育総務課牧野)